



APOLLO
MEDICAL HOLDINGS

海外研修だより

～薬剤師だって、空を飛ぶ～



視察内容

視察地:ロンドン、バルセロナ

日程:2017.11.21～11.28

11月21日 成田国際空港 集合・出発

ロンドン・ヒースロー空港着

ホテル会議室にて英国医療に関する事前学習

11月22日 キングストン大学薬学校にて研修

11月23日 終日研修・視察

Sainsbury's (スーパーマーケット) 店内薬局 Lloyds Pharmacy 訪問

John Bell & Croyden (王室御用達調剤薬局) 訪問

Boots Pharmacy (ドラッグストアチェーン) 訪問

Florence Nightingale Museum 訪問

Spring Pharmacy (個人薬局) 訪問

Prince Pharmacy (個人薬局) 訪問

11月24日 ホテル会議室にて特別講演

テーマ1: 英国における法的分類

テーマ2: 患者さんが必要な医薬品を入手するために使用される英国の法的メカニズム・処方せん・医薬品法での除外例PGD

王立薬剤師協会 (RPS) 訪問

ロンドン市内視察・バッキンガム宮殿・ロンドン塔など

11月25日 ヒースロー空港からバルセロナへ出発・到着

Farmacia Diptacio Barcelona (個人薬局) 訪問

サグラダファミリア見学

Farmacia Sant Gervasi (個人薬局) 訪問

11月26日 終日自由視察

11月27・28日 バルセロナ空港出発ロンドン経由成田到着



視察内容

□キングストーン大学

キングストーン大学は1899年にキンストン工科学校として創立された公立の研究大学。2004年に薬学部が新設された。ロンドンテムズ川付近のキングストン、アポンテムズに位置する。ここでは英国での薬学教育、薬剤師の役割の拡大、高齢者の患者のケア、独立処方について講義を受けた。薬学教育では1年次から病院や薬局での実習があり、その他にも臨床医やベテラン薬剤師からの講義、他業種との関わりを学ぶためのセッション等があることに日本との違いを感じた。薬剤師が処方することができるという独立処方はすべての薬の処方ができるが実際には自分の得意とする分野に限って行うとのことだった。



□John Bell&Croyden(王室御用達調剤薬局)訪問

エリザベス女王や中東王室も利用している薬局。外観、内装に高級感がある。店内は落ち着いたピアノの曲が流れており、良い香りが漂っている。医薬品だけでなく化粧品、介護用品、聴診器などの医療用具も取り扱い、診察室まであり広範囲なサービスを提供している。地下には老人ホーム向けの調剤部門もあるとのこと。



参加者からの感想

日本と違い箱調剤ということもあり待ち時間があまりないようで薬局には待合室もなく椅子さえありませんでした。どの薬局も調剤だけでなくOTCやその他の商品等が豊富で、それぞれの地域やニーズに合わせて特色ある店舗作りをしており、それは薬局と患者さんや地域住民との距離を近くしているようにも感じられました。

